第100期定時未主総会

2023年6月28日

株式会社タムラ製作所





ご質問等につきましては、 報告事項および 決議事項の議案の内容説明が 終わりましてから、 一括してお受けします。

監査報告

常勤監査役横 山 雄 治

監査役会の監査報告書

監査報告書

当監査役会は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第100期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

- 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容
- (1) 監査役会は、監査の方針、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査基準に準拠し、監査の方針に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思 疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
- ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、常勤監査役が主要な国内子会社の監査役を兼務しており、主要な国内子会社の取締役会等重要な会議に出席するほか、セグメント別経営会議や取締役会での活動報告を授受し、監査計画に基づき海外を含む主要な子会社の事業所、工場等についてオンライン形式により必要に応じて事業の報告を求め、その業務及び財産の状況を調査いたしました。
- ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制(内部統制システム)について、取締役及び使用人からその構築及び連用の状況について適宜報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明しました。
- ③ 事業報告に記載されている会社の支配に関する基本方針については、その内容について確認いたしました。
- ② 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人から監査の計画及びその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」(会社計算規則第131条各号に掲げる事項)を「監査に関する品質管理基準」(2005年10月28日企業会計審議会)等に従って整備している旨の通知を受け、更に、日本公認会計士協会による品質管理レビュー結果報告を受け、必要に応じて説明を求めました。なお、監査上の主要な検討事項については、EY新日本有限責任監査法人と協議を行うとともに、その監査の実施状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- 以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動 計算書及び個別注記表)及びその附属明細書並びに連結計算書類(連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書 及び連結注記表)について検討いたしました。
- 2. 監査の結果
- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
 - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
 - ④ 事業報告に記載されている会社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針については、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果
- 会計監査人EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果
- 会計監査人EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2023年5月29日

株式会社タムラ製作所 監査役会

常勤監査役 横 山 雄 治 ⑪ ⑪ 社外監査役 戸 田 厚 剅 ⑩

以上

第100期 定時株主総会議事

報告事項

- 1. 第100期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告、連結計算書類 ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2. 第100期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類報告の件

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。) 5名選任の件

第4号議案 監査等委員である取締役5名選任の件

第5号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)の報酬等の額決定の件

第6号議案 監査等委員である取締役の報酬等の額決定の件

第7号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)に対する

株式報酬等の額および内容決定の件

報告事項

1. 第100期事業報告、連結計算書類 ならびに会計監査人および監査役会の 連結計算書類監査結果報告の件



経済環境

世界経済

■ 概ね回復
基調で推移



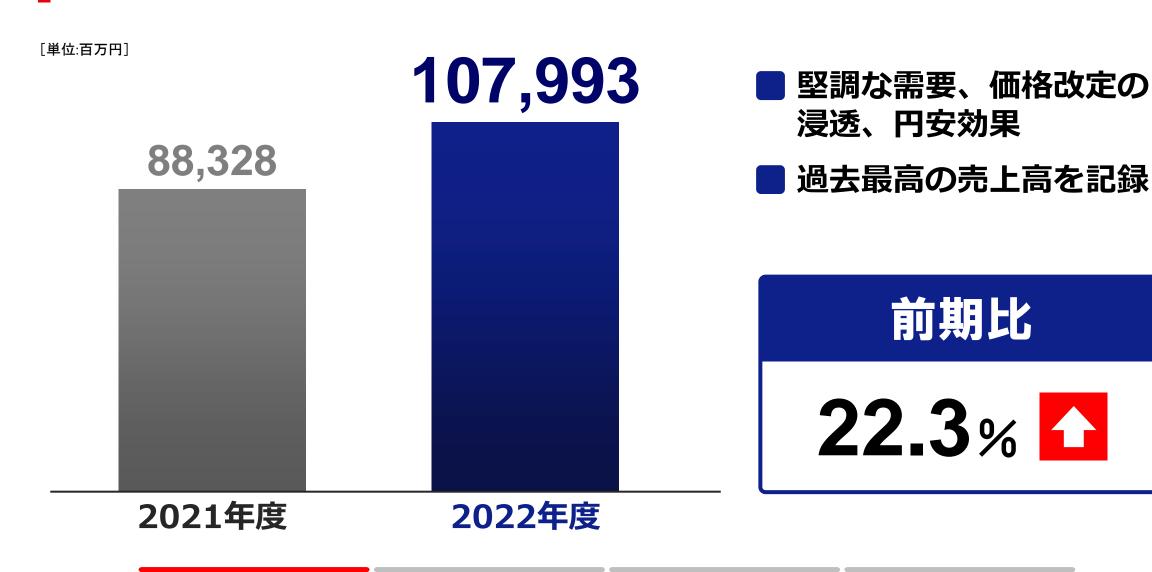
- 原燃料価格や為替の変動
- ■インフレーションの進行
- 欧米における金融市場の混乱

不安定な 状況継続

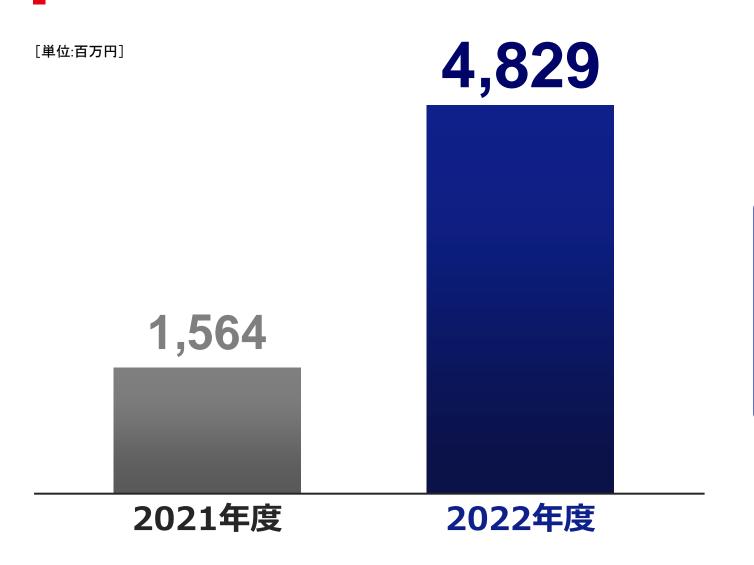
エレクトロニクス市場

- 半導体不足による自動車の減産
- 巣ごもり需要の反動によるスマートフォン減速
- 家電関連、産業機械は年度を通じて底堅い需要が継続

売上高



営業利益



前期比

208.6%



事業報告

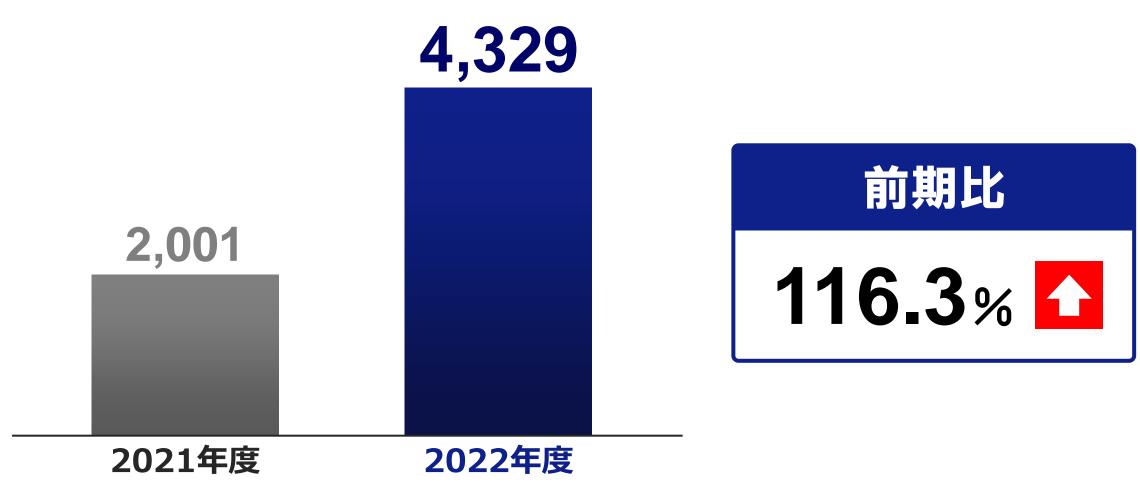
計算書類

対処すべき課題

決議事項

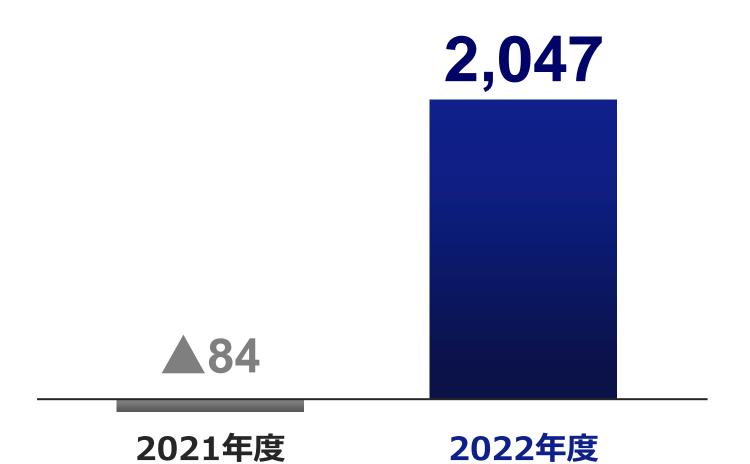
経常利益

[単位:百万円]



親会社株主に帰属する当期純損益

[単位:百万円]

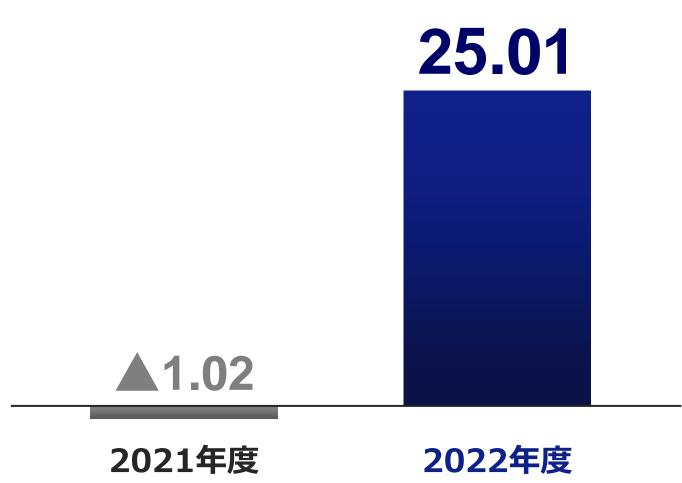


- 特別損失(純額) 約15億円を計上 うち、中国連結子会社の減損 損失約13億円
- 黒字転換

対処すべき課題

1株当たり当期純損益

[単位:円]



事業別概況

電子部品関連事業

電子化学実装関連事業

情報機器関連事業



電子部品関連事業





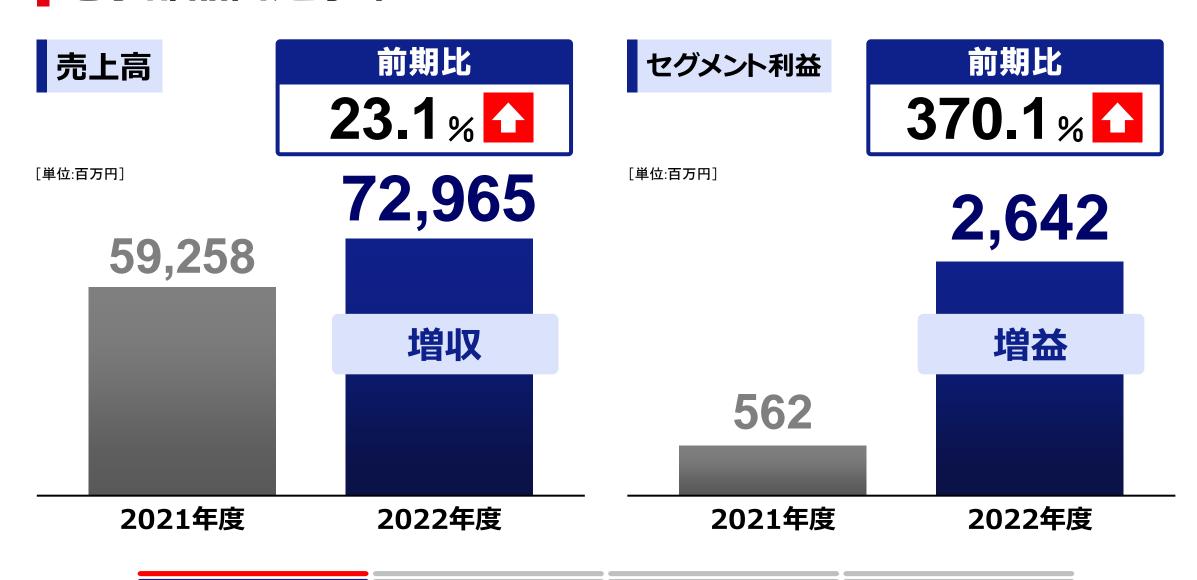
- 電動工具向けチャージャは年度末減速
- エアコン向けリアクタ、 産業機械向けトランス・リアクタが堅調に推移
- 価格改定の効果、生産改善活動の効果が 年度を通じて寄与



収益性が大きく改善

13

電子部品関連事業



事業別概況

電子部品関連事業

電子化学実装関連事業

情報機器関連事業



15

電子化学実装関連事業

電子化学事業



実装装置事業



ソルダーペースト



■ ソルダーレジスト



前期並みの売上

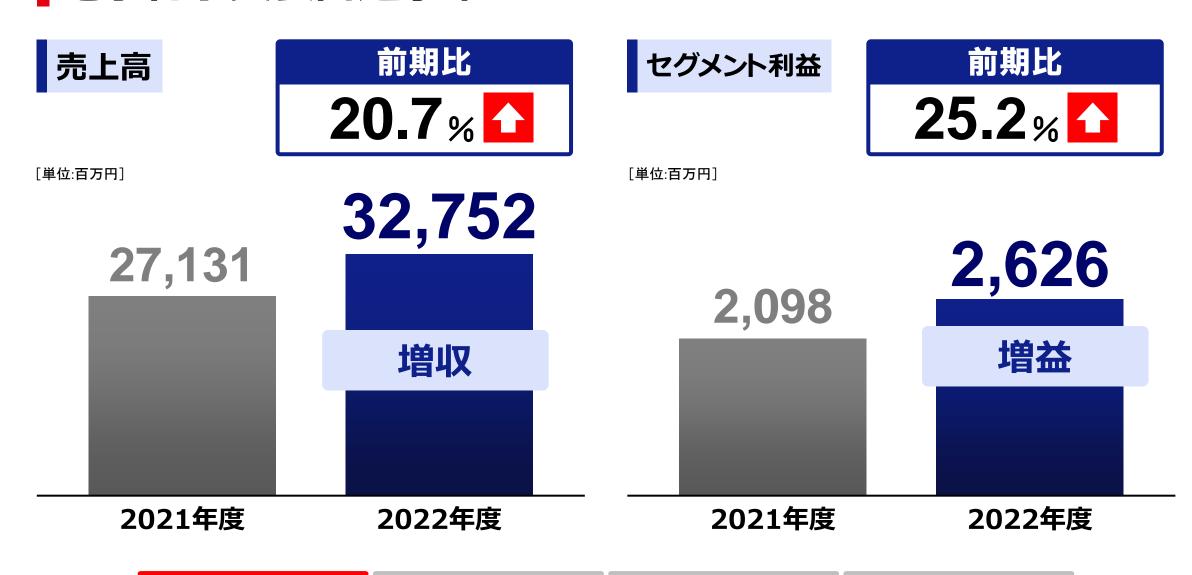
■ 実装装置事業



回復基調が継続

16

電子化学実装関連事業



事業別概況

電子部品関連事業 電子化学実装関連事業 情報機器関連事業



情報機器関連事業



- ■主力市場である放送業界は本格的な回復には至らず
- 次世代音声卓の開発完了により 開発費用が減少



損失が大きく縮小

19

情報機器関連事業

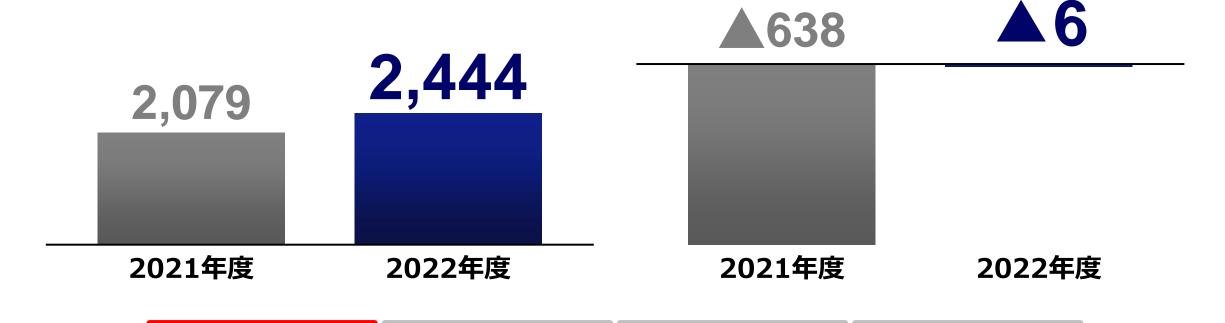
売上高

前期比 17.6% 1

セグメント損失

「単位:百万円]

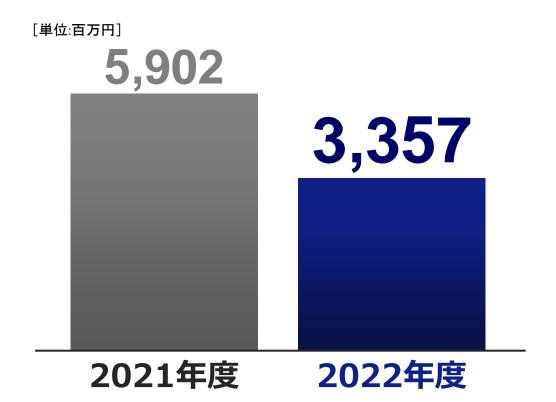
[単位:百万円]



設備投資

設備投資総額

33億5千7百万円



■ 日本およびアジア地区を 中心とした生産設備の増強や更新

対処すべき課題

のちほど社長の浅田より ご説明いたします。

その他状況

- 1項:「企業集団の現況に関する事項」のその他の事項
- 2項:「会社の株式に関する事項」
- 3 項:「会社の新株予約権等に関する事項」
- 4項:「会社役員に関する事項」
- 5項:「会計監査人の状況」
- 6項:「取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制 その他業務の適正を確保する体制」
- 7 項:「業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要」
- 8 項:「株式会社の支配に関する基本方針」

「招集ご通知」31頁から53頁をご覧ください。

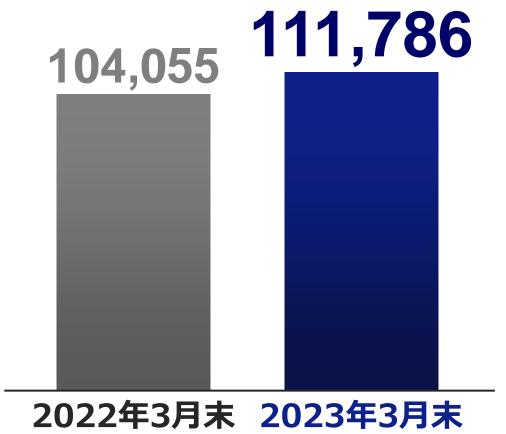
22

資産の部	負債の部
111,786百万円	58,868 百万円
	純資産の部
	52,918百万円

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

[単位:百万円]

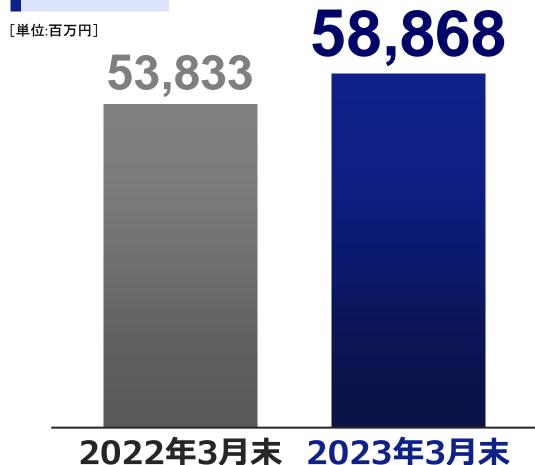


前期末比

77億3千1百万円

- 売上債権および棚卸資産の増加により 流動資産が 87億9千1百万円増加
- 中国における減損損失の計上などにより 固定資産が 10億5千9百万円減少

負債の部

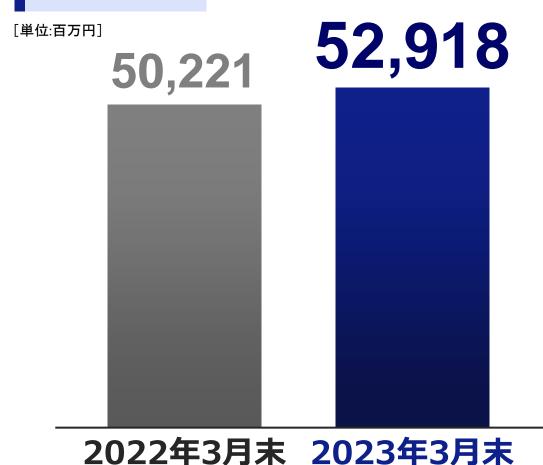


前期末比

50億3千5百万円

■銀行借り入れによる資金調達で 有利子負債353億1千2百万円 (41億2千6百万円増加)

純資産の部



前期末比

26億9千6百万円

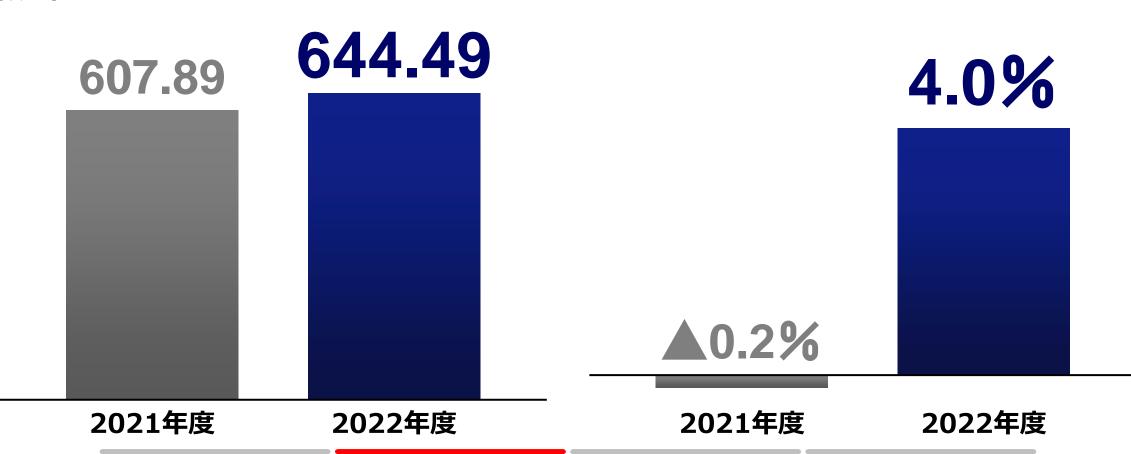


■ 円安により 為替換算調整勘定が 20億7百万円増加

対処すべき課題 事業報告 計算書類 決議事項

1株当たり純資産

[単位:円]



決議事項

自己資本当期純利益率(ROE)

報告事項

2. 第100期 計算書類報告の件 「招集ご通知」55頁から58頁を ご覧ください。



対処すべき課題

「招集ご通知」31頁から34頁をご覧ください。



長期ビジョン

2024年は当社の創業100周年



長期ビジョン

2050ありたい姿

世界のエレクトロニクス市場に高く評価される

<u>脱炭素社会実現のリーディングカンパニー</u>

招集ご通知 P. 31~34

第13次中期経営計画(2022年4月1日~2025年3月31日)

Energize the Future 100

創業100周年とその先の力強い未来を創る変革

2024

100周年

事業戦略: 成長と効率の二本柱

· カーボンニュートラルに貢献する 事業成長

グローバル 展開強化

新製品 新事業 創出

· 事業収益・資産効率向上

営業利益 60億円 (6%)

ROE 8%

サステナビリティ戦略

マテリアリティ

- ① 持続的な事業成長
- 2 製品品質の向上
- 3 適正なサプライチェーン
- 4 コンプライアンス
- 5 働きがいの実現
- 6 地域社会との共生
- 7 地球環境保全・脱炭素社会の 実現への貢献
- 8 情報開示の充実

2050

2050ありたい姿

世界のエレクトロニクス 市場に高く評価される 脱炭素社会実現の リーディングカンパニー

招集ご通知 P. 31~34

32

第13次中期経営計画(2022年4月1日~2025年3月31日)

事業戦略



収益および資産効率の向上

事業収益・資産効率向上

営業利益 60億円 (6%)

ROE 8%

投下資本利益率(ROIC)

資産効率意識

各種施策の推進(棚卸資産削減等)

第13次中期経営計画(2022年4月1日~2025年3月31日)

サステナビリティ戦略

マテリアリティを軸に展開

マテリアリティ

- 1 持続的な事業成長
- ② 製品品質の向上
- 3 適正なサプライチェーン
- 4 コンプライアンス
- り 働きがいの実現
- 6 地域社会との共生
- 7 地球環境保全・脱炭素社会の実現への貢献
- 8 情報開示の充実

招集ご通知 P.31~34

第13次中期経営計画 2022年度の進捗

事業収益の改善

売上高

過去最高を記録

営業利益

目標を大きく上回る



好調なスタート

第13次中期経営計画 2022年度の進捗

成長戦略の推進

グローバル展開強化

欧米の生産能力を増強

- ■メキシコ工場拡張 大型トランス・リアクタの増産体制を整備
- ■ルーマニア新拠点設立 チャージャをメインにモジュール製品を生産 (2024年11月生産開始予定)

第13次中期経営計画 2022年度の進捗

モビリティ:電子部品事業

車載用 昇圧リアクタ

- 前中期経営計画期間中に投資
- 中長期的な事業環境の見通しが変わったため、 戦略の見直しを進める
- モビリティ市場は引き続き重要市場



より広い製品・用途開発を推進工場稼働率と事業収益改善を目指す

サステナビリティ戦略

- カーボンニュートラル戦略
- 温室効果ガス排出量の削減 ※2013年対比

2030年までの目標

51%削減

第13次中期経営計画 目標 33%削減

国内主要5拠点の再生エネルギー使用率100%を実現し、大きく前進

- 人材戦略
- 「人が憧れる会社」「人が集まる会社」を目指す

経営トップによる陣頭指揮で、心理的安全性プログラム展開 経営トップによるタウンホールミーティング開催、従業員との対話推進

対処すべき課題 事業報告 計算書類 決議事項

招集ご通知 P. 31~34

第13次中期経営計画(2022年4月1日~2025年3月31日)

Energize the Future 100

創業100周年とその先の力強い未来を創る変革

事業戦略: 成長と効率の二本柱

カーボンニュートラルに貢献する 事業成長

グローバル 展開強化

新製品 新事業 創出

事業収益・資産効率向上

営業利益 60億円 (6%)

ROE 8%

サステナビリティ戦略

マテリアリティ

- 1 持続的な事業成長
- 2 製品品質の向上
- 3 適正なサプライチェーン
- **4** コンプライアンス
- 5 働きがいの実現
- 6 地域社会との共生
- 7 地球環境保全・脱炭素社会の 実現への貢献
- 8 情報開示の充実

100周年

2024

引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます

 引き続き、決議事項の 説明をさせていただきます。 株主様のご質問・ご意見は その後に一括して お受けいたします。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名選任の件

第4号議案 監査等委員である取締役5名選任の件

第5号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)の

報酬等の額決定の件

第6号議案 監査等委員である取締役の報酬等の額決定の件

第7号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)に対する

株式報酬等の額および内容決定の件



質疑応答

- まず、挙手をお願いします。
- 議長が指名いたしましたら、スタッフがマイクスタンドに ご案内いたします。
- 位置につきましたら、お手元の入場票の番号とお名前を おっしゃっていただき、要点を簡潔にご発言ください。
- ご発言が終わりましたら、お席へお戻りください。

なお、円滑な議事の進行のため、 ご質問は本総会の目的事項に関するものにつき、 1回の指名につき1個のご質問とさせていただきます。 ご理解のほどお願い申し上げます。



採決

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名選任の件

第4号議案 監査等委員である取締役5名選任の件

第5号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)の

報酬等の額決定の件

第6号議案 監査等委員である取締役の報酬等の額決定の件

第7号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)に対する

株式報酬等の額および内容決定の件

第1号議案

剰余金の処分の件

第2号議案

定款一部変更の件

事業報告 対処すべき課題 決議事項 46

第3号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。) 5名選任の件

第4号議案

監査等委員である取締役 5名選任の件

第5号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。) の報酬等の額決定の件

第6号議案

監査等委員である取締役の 報酬等の額決定の件

第7号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)に対する株式報酬等の額および内容決定の件

第100期定時未主総会

2023年6月28日

ご来場ありがとうございました





第100期定時未主総会

2023年6月28日

ご来場ありがとうございました



